

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松濤会		代表者	松本 定信		法人・事業所の特徴	市役所や銀座通り等、大通りに面した中心街に位置しており、地域社会との交流や接点を持ちながら、生活を維持できるよう支援しています。「お望みの時に、お望みの介護を」を目指し、通いを中心に、宿泊や訪問を柔軟に組み合わせ、なじみの職員がなじみの場所で、通い・宿泊サービスを提供しています。訪問についても、なじみの職員が対応しますので利用者様、ご家族様も安心です。また、特別養護老人ホーム銀砂台「助川サテライト」を併設しており、助川サテライト利用者様、ご家族様との交流も多く、家庭的な雰囲気が楽しめます。			
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 銀砂台「鹿島町クラブ」		管理者	石川 美也子						
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	人	1人	人	人	人	4人	人	8人
項 目		前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果		意見		今回の改善計画		
A. 事業所自己評価の確認						ヒヤリハットは、多ければ多いほど財産になると考えてほしい。		些細な事でも、ヒヤリハットを出し、事故につながらないようにする。また、リスクマネジメントへの研修参加を計画し、職員個々のスキルをアップする。		
B. 事業所のしつらえ・環境						現在は、施設内から外部へ出る事ができないようになっているが、自由に出入りすることはできないか。		外出したいとの希望者に対し、その都度付き添い対応する。		
C. 事業所と地域のかかわり						町内会の班長となり、市報配布などを行っていることから、現在高齢者が増えている町内会では、助かっている。		市報配布を通し、地域住民との交流を図る。また、施設行事への参加の声掛けを継続的に行う。		
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み						在宅の人は、家族との外出が少なく、職員と一緒に外出することも楽しいと思う。		外出を定期的に企画し、気分転換を図る。		
E. 運営推進会議を活かした取組み						運営推進会議に出席している委員の、利用者との関わりが少ない。		運営推進会議の開催日には、施設の案内や、利用者の紹介などを行うように努める。		
F. 事業所の防災・災害対策						避難訓練などに参加したことしかなかったことがなく、どのような方法で訓練をしているのかわからない。		避難訓練に地域住民の参加をお願いする。避難訓練の様子をホームページへ掲載する。		